

## 漁業取締船「はやぶさ」代船建造について

平成 15 年に就航した現在の漁業取締船「はやぶさ」は、機関・船体ともに老朽化が進んでいることにあわせ、搭載している機材も老朽化して機能的に劣ることから、漁業秩序の維持と水産資源の保護、漁業経営の安定のため、平成 31 年度から建造を始め、翌年の秋に新造船を就航する予定。

### 新しい漁業取締船「はやぶさ」の概要

#### ◆取締船の規模について

- ☛ 漁業取締船としての業務の特殊性から、現在の「はやぶさ」と同じく、アルミ軽合金製の滑走型高速艇とします。
- ☛ 田後港・網代港・鳥取港・赤碕港への入港を可能とするため、大型化せずに現在の「はやぶさ」と同規模の取締船を建造します。

	現在の「はやぶさ」	建造する新造船
総トン数	66 トン	69 トン
長さ	30.2 メートル	29.3 メートル
幅	5.8 メートル	5.7 メートル
深さ	3.05 メートル	2.80 メートル

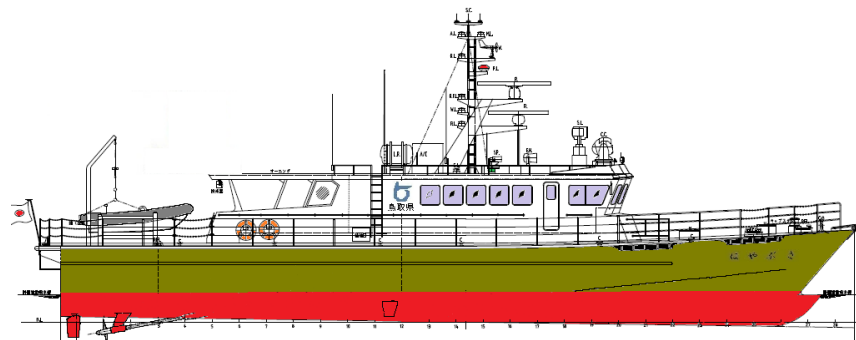
#### ◆速力・航行区域について

- ☛ 主機関の出力アップ、ステップバウ船首の採用、最新型プロペラの採用により、巡航速力を 34 ノット以上にスピードアップさせます。
- ☛ 航続距離は、従来の取締海域に変わりがないため、変更はありません。

	現在の「はやぶさ」	建造する新造船
巡航速力	25 ノット（現在の速力）	34 ノット以上

#### ◆乗員数及び取締能力の向上について

- ☛ 新造船の乗員数は現在と同じく航海士 3 名と機関士 3 名の 6 名です。
- ☛ 特に夜間における取締能力を向上させるため、暗闇であってもサーチライトを使用せずに船名の確認や操業状況を確認するための監視カメラを装備し、鳥取県沖合の更なる漁業秩序の維持に努めます。



鳥取県が建造する新造船のイメージ図です